

2023年度 一般社団法人 東金青年会議所  
理事長所信

高科 雄一郎

『はじめに』

「どうして青年会議所活動をやっているのか」と良く聞かれることがあります。そんな時は、「自身の成長のため」と答えます。青年会議所に向き合い、全力で活動されてきた先輩方の背中には果てしなく大きく立派に見えました。そのような、先輩方に一步でも近づけるように、時には歯を食いしばって歩んできました。活動を行っていれば、辛いことや苦しいことは多くあります。JC と仕事とプライベートの狭間で、正直もう無理だと思ったことも一度や二度ではありません。しかし、ひとつ胸を張って言えることは、青年会議所は人生を確かに豊かにしてくれました。

歴代の先輩方の姿を思い返すと、いまの自分がいかに至らないのか身に染みて分かります。しかし、私たちは、これからの時代を創り上げて行かなければなりません。私たちの地域を、私たちの手で良くして行かなければなりません。そのためには、私たち自身が活動に本気で取り組む必要があります。本気の先には「楽しさ」があり、それが魅力となり活動が伝播していくことでしょう。そして、青年会議所には地域、全国、世界との確かな繋がりがあり、活動の幅は無限大です。東金青年会議所こそは、輝く個性と地元根差したネットワークを武器に、これからの地域を盛り上げていく存在であるべきです。メンバーみんなで試練を乗り越えた先に、一人ひとりが理想の自分に近づける endeavor（挑戦）の旅に出かけよう。努力の先に必ずや栄光があることを信じて。

『青年会議所のすばらしさ』

青年会議所は会員に「機会の提供」をする場であると言われてますが、それはどのような「機会」でしょうか。緊張しながら大勢の人の前で話すこと。ゼロから計画して誰もやったことのない事業を実現させること。仲間と夜を徹して議案書を作り上げること。青年会議所の素晴らしいところは、そういった「経験」が積めることです。そして、本気で取り組んだうえでの失敗は許されるのです。成果よりもプロセスを、本番よりも準備を大切にする青年会議所で積んだ経験は、たとえ結果が出なくても必ずその人を成長させます。

その「経験」こそが、自身の財産となり、費やした時間に対する報いになるのです。「役職が人を育てる」と言うように、同じ時間を過ごしていても、議案の構築から事業の実行まで指揮する委員長として過ごす一年と、ただ参加しただけの委員とでは経験の度合いがまるで違います。役職者が大変であるのは言うまでもありませんが、経験することがその人にとって最大の「機会の提供」になります。頭を抱え、汗水たらし、人の見ていない所で働きをする、といった事をメンバー一人ひとりが経験し成長できる一年といたします。

### 『「楽しい」を広げる団体へ』

「魅力的な組織」とはどんな組織でしょうか。それは、「メンバーがやる気に溢れ前向きに活動する」組織であると考えます。全力で活動するメンバーが地域の他団体との交流や協力を通して、地域のプレイヤーとのネットワークを構築して活動の幅を広げていきます。そのためには会員も積極的に他団体と交流し、出向を通して地域を越えたJC運動のネットワークを構築し、そこで得た貴重な経験をLOMの財産として持ち帰ってきていただきます。そして、会員一人ひとりにはJC活動の楽しさを地元を広げていき会員拡大にも繋がります。

そのためには、先ず今いるメンバーを大切に、本気で活動に取り組みたいと思える環境づくりをしていきます。

### 『青年会議所とまちづくり』

青年会議所と聞いて真っ先に思い浮かぶのが「まちづくり」です。しかし、私たちの住む山武地域では少子高齢化と人口減少という避けがたい問題を抱えており、地域活性化のためには、交流人口を増やす取り組みが急務です。いまこそ私たちは地域の諸団体と手を携え、地域の発展のため先頭を切って走らなければなりません。

地域を活性化するには、空き家対策や子育て支援、新たなビジネスのスタートアップ支援など、様々な手法がありますが、交流人口の増加が移住促進やシビックプライドにつながるようなビジョンを示すことが必要です。そのためには、地域の課題と強みを把握して、地域に何が必要なのかをしっかりと議論することです。そして、地域をより良くするためには、他団体との協力が欠かせません。志を同じくする他団体と共に手を携え、地域の未来に繋がる事業を展開していきます。

### 『会員の資質向上に資する屋台骨』

どんな魅力的な組織でも、それを支える屋台骨がないと崩れてしまいます。堅実で、一つひとつの決まりごとを丁寧にこなす総務委員会が必要です。組織の足元を固め、目立たずともみんなから頼られる存在となることが理想的です。また、人数が少ない中で効果的な活動を行っていくには、運営上の無駄を省き、必要なことだけに注力できるよう改善を図っていく必要があります。

そして、私たちの思いをより多くの地域の青年に伝播しよう。地元を大切にする人材の発掘につながる機会を創出して、会員拡大の旗振り役となる総務委員会を目指します。

### 『終わりに』

東金青年会議所は、52年の歴史ある団体であり、先輩諸兄のこれまでの確かな歩みによって今日の私たちがあるのは言うまでもありません。私たちの代で変えていかなければならないことに今取り組まなければ、衰退は避けられない現実だと思えます。2023年度は、地域の他団体をつなげ、地元の発展に資する団体として確かな一歩を歩んで参ります。